

令和4年度 第2回磐田市総合教育会議 会議録

日 時 : 令和4年10月27日(木) 午後4時00分～午後5時00分

会 場 : 磐田市役所 西庁舎3階 特別会議室

出席者 : 市長、教育長、秋元富敏委員、鈴木好美委員、大橋弘和委員、阿部麻衣子委員
(出席者6名)

事務局 : 企画部長、教育部長、政策推進課長、教育総務課長、
政策推進課政策・行革推進グループ長、教育総務課総務グループ長、担当

傍聴者 : なし

【会議次第】

1. 開 会
 2. 市長あいさつ
 3. 協 議 事 項
子どもたちへの磐田市の郷土愛の醸成について
 4. 閉 会
-

[協議の主な内容]

子どもたちへの磐田市の郷土愛の醸成について

市長

今日は、磐田市の自慢出来る点や子供達の感覚などを共有する時間にしたいと思っている。

事務局

本日は協議に先立ち、市長から磐田市が全国で自慢出来る事など、子供達にも分かってもらいたい点についてプレゼンしていただく。

市長

前回の総合教育会議で磐田の教育大綱について話したが、教育大綱にでてくる「培う」というのは土を耕すということで、その土が何なのか分からないと耕す事が出来ないだろうと思う。

そこで、私目線や企画サイドの見た目線で磐田の自慢出来る事を教育委員の皆さんにも知って頂き、更に学校現場でも「こういう事は子供達に知っておいてもらった方が良い」とか「こんな宝が磐田市にはあったのか」と知ることが大事ではないかという事で今日はこのテーマを選んだ。

まず今月6日に寺谷用水が世界かんがい遺産に登録された。豊田の加茂地区にこれを造った平野重定さんという方のお墓があり、今年が399回忌、来年が400回忌になる。そのタイミングで世界かんがい遺産に登録されたというのはとてもありがたい。私の家の前も寺谷用水が流れているが、子供の頃はこんな歴史的な価値がある物と知らなかった。

歴史でいうと東海道があり松並木もこうして残っている。城山球場は城之崎城と言って家康がここにお城を建てようとしていたが、天竜川を背にして背水の陣になってはいけないという事で浜松城に移動したという伝説が残っている。今でもあのスタンドは当時の城の土塁を使っているという事だが、城山球場で野球をやっている子達もほとんど知らない。家康絡みの話としてしっかり伝えていきたいなと思っている。

それから、旧見付学校は現存する擬洋風の木造小学校という事で日本最古だ。松本に開智中学校という国宝があるが、それより一年前に作られている。磐田にはこの手の学校が実は3つあったと言われている、一つはここで、もう一つが医王寺の境内の坊中学校、郷社と言われる豊田のお寺の神社の境内に西之島学校があったと言われている。地域の人達が自分でお金を出し合っで最先端の建物を建てて最先端の学問を学ばせようとしたということで、皆で次の社会の時代を担っていく地域の子供や若者達を育てようとしたというその心意気が私は凄く大事だなと思っているので、学びという事を磐田は大事にしたいと思い、今年からここからラボという学びの場を作らせて頂いている。最新の物とか最先端の物を磐田市はどこでもいつでも学べる様な環境を作っていきたいと思っている。

国分寺はもう言うまでもないが、聖武天皇が当時の天然痘を収める為にここに国分寺を作ったという事で七重の塔と言っているが、本当に七重の塔だ

ったのか分からないというのが今の定説らしい。今は木を切っているため色々意見が出そうだが、遺構をしっかりと守っていくという事で国分寺の方も大切にしていきたい。

あと、この赤線が東海道ですけれども、北海道の子が磐田に来た時に本当に東海道はあったんだという事を言ってくれた人がいた。磐田の子達に東海道を書いてくれと言ってて何人書けるかという、恐らくほとんど知らないのではないかと思う。東海道が曲がっている意味もきちんとあるので、しっかり伝えていきたい。

産業や交通基盤の話に移るが、新磐田スマートICと御厨駅が新しく出来た。

獅子ヶ鼻公園は今トレッキングで有名ですが、落石が下で起こってしまったので、その対応をこれから考えていく。

海では、サーフィンの全国大会をやっているの、マリンスポーツなどにもっと使っても良いのではないかなと思っている。

天竜川の河口は、こういったところからの環境教育も、色々考えられるのではないかと思っている。この天竜川も太田川も、ここに砂がたまっているのはどうしてだろうとか、そもそも砂浜が何で狭くなってしまったのかとか色々考えたり将来について勉強したりするキーワードはここに沢山あるのではないかなと思う。

桶ヶ谷沼ももちろんそうだ。ベッコウトンボは私が子供の頃は日本一と言って、トンボしかない町だと思っていた。「ミニやごちゃん運動」と学校の教育でやっているのは、何で「ミニやご」なのかというこのトンボからとっている。

日照時間は実は日本で2番目に長い。年間日照時間が日本で2位ということで、これは実は農業的にはとても価値がある場所だ。こういう事も子供達に伝えていきたい。

スポーツのまちは昨年は全国1位を、今年は全国2位をとった。これはブランド総研という野村総研系の調査会社が出している全国調査のランキングなので、市民の評価というより日本人達が評価してくれている。これも子供達に伝えると良いと思っている。

教育の話になるが、グラウンドの芝生化。視察が一番多かったのはこのグラウンドの芝生化じゃないかと思う。今でも注目をしてもらっている。

市内に5つ高校があるというのも強みで、特に農業系の高校があつて商業系と福祉系の高校があつて私立と進学校という事で非常にバランスが良いと思っている。それから大学は静岡産業大学と農林環境専門職大学がある。小中学生ぐらいが大学の構内に入るという事は非常に貴重だと思うので、これからこのキャンパスや講堂を子供達に開放してもらえよう調整したい。

それから特産品だと海老芋が日本一だ。チンゲン菜は旧豊田町で盛んだし、長ネギ、いわた茶、シラス、アローマメロンも盛んだ。

そしてここには無いですが最近バナメイエビの陸上養殖が注目を集めている。本当に良い取り組みで、地下水を掘ると海水が出てくるが、その水が非常に良い様でこれからの陸上養殖のメッカになる可能性がある。

産業に移るが、実はヤマハ発動機が磐田にあると知ったのは、ある程度の年齢になってからだ。天竜工場はあるが、あそこで何を作っているとか本社があるなんて事は小中学校の頃は考えた事もなかった。

子供達には大人達が分かっているだろうと思うことでも実は分かっていない事が沢山あるので、きちんと伝えたいと思っている。

それから「じっくりことごと煮込んだスープ」はほとんど磐田で作られているという事は皆さん知らないと思う。これは中の粉を磐田の福田で作っている。

それからカワイのピアノは、100%磐田産だ。これも日本のピアノの半分は掛川でヤマハが作っていて、半分は磐田でカワイが作っている。

スマート農業の話が出てきましたね。パプリカはもしかすると日本一にもうじきなれるかもしれないと言われている。

医療費の無料化も実は相当力を入れてやっていて、今は高校生まで医療費無料化になっている。

ということで、知らない話がありましたか。こういう事を子供達に上手く伝えていきながら、磐田から外に出た時に「それは今うちのまちで作っているらしいぞ」という事が自然に出てきてくれると、それが段々誇りになっていく。

浜松ホトニクスがやっている「ハイパーカミオカンデ」とかも全部磐田で作っている物なので、そういったテレビを見たりお店に行ったりして自慢出来る物がこの町には沢山あるという事と、イコールこのまちに戻ってきたらこんな働き方が出来るぞという事を伝えていきたい。

産業が沢山あるのに知らないという事がもったいないなと思っているので、ぜひ教育委員の皆さんも少しでも宣伝して頂いて、学校でこれを教えていこうという事などをキーワードとして出して頂けるとありがたいと思う。

事務局 協議の前に、高校3年生に対して毎年取っているアンケート結果を事務局から説明させて頂く。

事務局 こちらは、市内5校の高校に就学している813人の生徒から回答頂いた結果になっている。まず1番目の卒業進路については、88.3%の方が進学を希望されている。

また、2番目の進学先就職先ですが、進学先については進学先が限られるという事もあり、市内は1.1%という形で少ないが、就職先としては44.1%の方が市内に就職を希望されている。

また、進学希望者の就職先の中で磐田市の就職を希望する方については23.7%の方がUターンを希望されており、市内在住者の方に限るとこれが

32.7%に上がってくる。

次に、磐田市で就職をしていない理由というところを見て頂きたいが、1番目と2番目の理由については希望先が無いとか就職をしているところで暮らすのが便利そうだからという理由で、磐田市の魅力を感じないからというところが3番目に上がっている。

本課の方でも高校生の事業等を行っているので、この辺は課題感を持って事業の見直しをして少しずつ取り組んでいきたいという風に考えている。

続いて、進学希望者の希望する就職先だが、医療福祉が1番ウェイトを占めている。就職希望者の就職先については、県内で86.3%を占めている。

また、希望する業種については、磐田市で就職した人については58.5%が製造業なので、高校卒業して進学をする方と就職をする方で希望する業種が異なっているという事がこの結果からいえる。

事務局からは以上になる。

事務局

それでは、市長のプレゼン、今のアンケート結果の説明を踏まえて協議をしていただきたい。この後会議の進行は議長となる市長にお願いをする。

市長

今日の協議事項は子供達への磐田市の郷土愛の醸成についてです。先程の私のお話なども聞きながら皆さんからヒントを頂きたいと思う。どなたでも結構ですからお話し頂きたい。

委員

昨日、大阪に進学をしている長女と話をしたときに、磐田のことは好きで帰ってきたいけど、ただ就職先がやっぱりないから、少し学んでからまた考えようかなと言っていた。彼女は磐田が好きで、何で好きかと聞くと、小さい頃から地域の方々に、すごく関わってもらってきた。旗振りのおじさんとか、パン屋さんとか、写真屋さんとか、困ったときもすぐ助けてくれたりしたという良さの蓄積が彼女の中にはあるようだ。

また今大阪に進学をしていると、ジュビロ磐田小学生一斉観戦ってすごく珍しいと言われるし、大阪で話をしたときにすごく羨ましがられるそうです。磐田から野菜を送ってもらったのもよかったし、ほかの子たちは全然それがなかったから、やっぱり羨ましがられる。

あと、うちは中学生のときに市の事業で台湾に行かせていただいたんですが、そのときに、教育長さんとかが、普通のおじさんとして話をしてくれたのもいい記憶として残っていたり、大名行列に市長がいたり、普段は看板にいるような人が普通にいるという身近さもあり、今もツイッターでフォローしている。

ここに載ってることを、恐らく学校でいろいろ教えてくださってきたが、結果、磐田が好きだという彼女につながっているのではないか。でも、仕事がないから帰れないとなっている。SNSを見ていて何かあったんでしょって私が知らないようなこともよく彼女から聞くので、彼女のほうが逆に、磐

田の情報を知っているし、知りたいと思っている。SNSが子供たちには、身近な存在になっている。

委員

磐田市には世界で活躍する会社が結構あるが、名前を知っていても何を作っている会社だとかはみんな知らない。企業にも協力してもらわなければいけないが、やっぱり子供たちに見せて夢を与えてもらえると、将来、地元に戻って仕事をやってみたいというところにつながってくると思う。今はそこが少し欠けていて、職場の見学会などはあるが、就職までつながることを見ているわけではない。製造業だけでなく、個人店でなども含め、そういうところをもう少し力を入れてPRできるといいと思う。

市長

この「磐田の自慢できること」というテーマで話したのは、初めてなんです。今話していて、「これをそのまま録画して子供たちに見てもらえればいいのか」と思った。磐田にどんな産業があるのかとか、面白いことがあるかってことを学校の先生に一から教えてもらうというのはちょっと難しいような気がするので、そういうことこそ市長部局と教育委員会が連携してやれるかもしれない。動画とか、学校で教える以外に、ほかに何か手段はありますか。

委員

子どもたちは、インスタもやっぱりみてますよね。ツイッターもみます。私は、「市のことを学ぶ」というのは小学校3年生のイメージがある。子どもの時にも一言坂の戦いをすごくやったときがあったり、そこで先生がどの材料をテーマに上げ、愛してやってくれるのかということが、その子にとってとても記憶に残る。たぶん3年生の中で、全てを深くやることは出来なけれども、磐田に関係するものをもっと入れてとか、何か調べておいてって言ったときに、知ってる方から先生にプレゼンしてあげればいいのかと思う。磐田で働いてる先生たちに、磐田の情報を教えてあげて、先生に学んでもらうことはとっても重要だなと思う。

あとはジュビロがあるのは、とてもすごいと思う。東京の大学に行ってるときは、「磐田」と言っても分かってもらえなかったのがジュビロが出来てから分かってもらえるようになったというのはすごく大きい。

あと、市歌を歌っているというのもすごく大きい。特に今21歳ぐらいの子は1番最初だったので、必ず市歌を歌える。市歌を歌えるっていうことがすごく大事で、あれを聞いたらふるさとみたいな情景が浮かぶ。

「就職先がない」というのは、うちの子も言います。やっぱりこっちは製造業、そうじゃなかったら、今は市役所ぐらいってなってしまうので、製造業じゃない職種の本社があればと思う。

市長

今も市歌は歌っているのか。

教育長

コロナ禍で、心の中で歌いましょうっていうパターンなので覚えな。やっぱり合併して10年たって歌を作ったのは、すごくいいことだと思うので、学校でももう1回てこ入れしていきたい。

教材である「私たちの磐田」では、新しい産業のことなどを書いてないので、働き方のところを組合せて、何か学校の先生に教えるのか、それとも我々が動画をつくって流して、流した後は子供たちにワークをやらせるなど、ちょっと授業のつくりを考えたい。自分が調べるにしてもやっぱり先生が知っているという土台はすごく大きいと思う。

市長

先生向けに何かやりましょう。

教育長

基本的にその学校に赴任したら、地域のことは知りましょうという研修はする。ただ、自分がやっぱり3年生を教えないと、というところは確かにある。そうすると必ず教材研究するので。

私たちは、教材をデジタル化出来ないかという話をされていて、そうすると動画は深掘りができるような教材になっていくといいと思っている。

委員

自分は、市長のプレゼンが、すごく大人が勉強になるなと思ったので、学校の先生たちに、是非やっていただきたい。

あと今月の磐田ホットラインから来た磐田の教育の道しるべに、郷土愛を持って伝統文化の継承のために、積極的にお祭り出ましようとして書いたが、自分もそれは大賛成で、やっぱり郷土愛の醸成は地元の方がやってくれるものだと思う。自分の子も新聞とかに出ると、近所のおじさんが「息子さん出たね」とかって言ってくれるので、それを息子に言うときすごく喜ぶ。だから、なるべく子供にはお祭りに出してもらって、子供たちも、大人もみんなが声をかけてくれれば、みんな磐田を好きになると思う。そういうふうに、自分の子供をしていきたいなと思った。

市長

コロナでいろいろ止まっていたことがこれから動き出していくので、やっぱり1回校長会とかで私が話しに行くか、教育長が話すかした方がいいと思う。

地域の皆さんとのつながりの部分もすごい大事だと思う。歴史とか産業を学ぶということも大事だが、一方で人間のつながりみたいところ、ここをもう1回取り戻すために、学校と地域の接点をもう少し増やしていくということも必要だ。一時、学校から卒業式・入学式も、地域の来賓を呼ばないとか、関係性をちょっと止める時代があったと思うんですけど、それで影響を受けるのは大人じゃなくて子供じゃないですか。子供にそういう影響を与えちゃいけないと思うので、校長会などで、子供たちはそういうことに、地域の愛着を持っているようだということをお話してもらいたい。今日はいろいろヒントをいただいたので、参考にして、動画でやるのがいいのか、現場で話

してやるのがいいのか、こういう情報をしっかり先生たちにも、子供たちにも伝えていきたいと思いました。

教育長

コミュニティースクールをやってるからには、そのつながりは出したいと思う。あと、地域の企業と学校が連携して、環境学習だとか、調べ学習をしていく時代になってきているので、企業の方と連携ができるといいねって言って今、模索してる。

事務局

企業も今、子どもたちが地元に戻ってこないほうが多いということで危機感をもっている。

キャリア教育とも絡んでくるし、探求学習もかかわってくるので、企業を使わない手はないなという思いはある。

市長

自慢できることが本当にたくさんある恵まれたまちなので、それを知らないというのが一番もったいないので、しっかり伝えていけるよう頑張っていきたいと思う。今日は時間どおりで終わることが出来ました。皆さんの御協力に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。